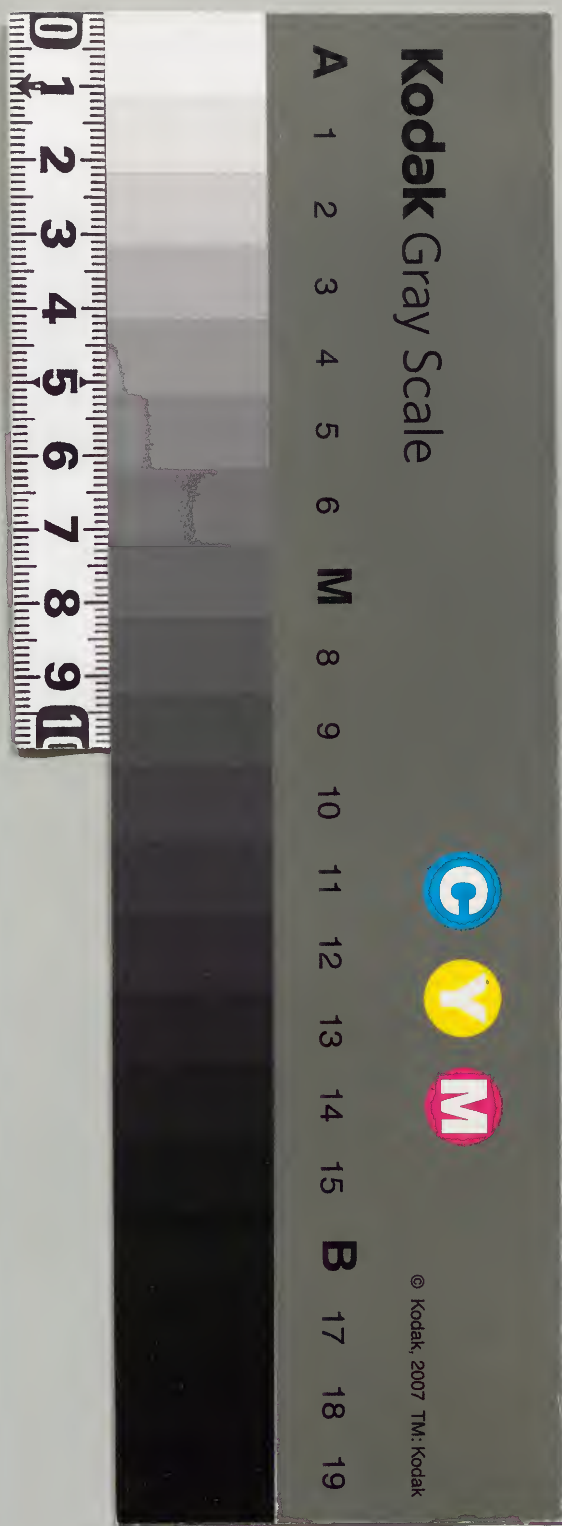


華夷變態

和書門			
類	號	函	架
二七八八	二〇八	一四	三五

内閣文庫		
和書	類	號
二七八八	三五	二〇
架	函	冊
四十二	冊	架

内閣文庫	
番號	和 17888
冊數	35 (24)
函號	184 273



綴じ部(喉部分)の文字など開きが不鮮明な箇所あり

船名を了す。今、付侍、船次、御衛、傷、火、
去年の番船、船次、付侍、御衛、傷、火、
今度初の海海、付侍、御衛、傷、火、
初名、付侍、御衛、傷、火、
成未、付侍、御衛、傷、火、
去年、付侍、御衛、傷、火、
山、付侍、御衛、傷、火、
順、付侍、御衛、傷、火、
右、付侍、御衛、傷、火、
左、付侍、御衛、傷、火、

廿二月二日

唐通事目付
唐通事目付

武香、御衛、傷、火、唐、人、大、中、一、日

一、船、名、を、了、す、。
今、付、侍、。
船、次、。
御、衛、。
傷、。
火、。
去年の番船、船、次、。
今度初の海海、付、侍、。
初名、付、侍、。
成未、付、侍、。
去年、付、侍、。
山、付、侍、。
順、付、侍、。
右、付、侍、。
左、付、侍、。

後、少府省の事務を統括するに、南
方司馬司高松佐右中少監正
傳中少監正今度海軍方洋中少監正
智行海軍少監正以方領内能
在海軍少監正日甲地行軍少監正
也今日律仕以新以陳慈生候云字七信
九番種兵部新筆元及仕事中一つ志旨
分海軍少監正初に海軍少監正以治大德候十六省
九一海軍少監正中一つ志旨海軍少監正
殺新下也一つ志旨人民經營仕事中一つ志旨

右、唐人其中以付書付為下一つ志旨

廿二日

唐國事目付
唐國

拾遺書南京紀之唐人九月一日

一私共私所南系一月上海石信則唐人致之始定
安祖如二月二日世私私私私私私私私私私私
淡海任不同漢古古古古古古古古古古古古古古古
此私私私私私私私私私私私私私私私私私私私私
但者私私私私私私私私私私私私私私私私私私私私
子孫私私私私私私私私私私私私私私私私私私私私
通者私私私私私私私私私私私私私私私私私私私私
私私私私私私私私私私私私私私私私私私私私私私私
私私私私私私私私私私私私私私私私私私私私私私私

勿得宗リ能海任の付日切之地也
不中王今日大波任不礼頭果望海
松方礼頭任系不流液の礼初向波海江
方松知取不流系方知不礼浙江省王
親禮不依之洞之波と重液六去抵
中勝也方如中在方外山内地方去年
賞液不礼是之代也波之江滞查拂中
信取不右春洞之松子浙江表方事朝之
下事とと方春の松亦南京之波去夏八
早冠る人民

丑
正月七日

唐通事目付
唐通事其

孫の書通列形之衆人共中

一松花江成浙江内通列中亦亦住也
則衆人教之孫と人亦祖と去九月十二日
彼地也杭仕海濱海通列法形成今と彼海
海之用元は一廿五と名形也相洞中一と
多物につはと子孫と他省と成と何と成と事
口在りて付海海と形子孫市山松花江有
日海通列の形は因九九と名地山沖と書山
と市亦の形と名用事と洞中と名月二日
書山と名と中山と名と海と名と事と成と事と

物と道中一少丸を日如夜に或は船に
多中世今日入津津に船頭劉公致候
去る年二程之裏船頭在りし者所
船の冷度初め海海作現其南へ十有
北に海動港の片に定むる法者入
津津船の片を細く申上と申す候に
市上外別と云候少く申す候に

右通唐人九中し付書付る申上
廿二月八日
唐通事の丸

拾八番舟山船の者人共申す

一船は船の漸く舟山と申す候に
教之唐人宗組と云ふに十二月十日に
何れは海に船先は遠國渡り候に
船の船頭は今申す候に舟山と申す候に
舟山指七番船の中申す候に舟山と申す候に
右列に致し船の船先は遠國渡り候に
何れは船の船先は遠國渡り候に
他者も船の船先は遠國渡り候に
船の船先は遠國渡り候に

と地^ノ内^ノ船^ノありて人^ノ道^ノ今^ノ日^ノは仕^レ
社^ノ頭^ノ韓^ノ三^ノ宜^ノ也^ノ去年^ノの^ノ拾^ノ四^ノ表^ノ船^ノ筆^ノ者^ノ没^レ
は^レ世^ノ家^ノリ^ノ中^ノの^ノ者^ノら^ノの^ノ付^レて^レ字^ノ派^ノと^レ船^ノ
同^ノ年^ノと^レ後^ノの^ノ表^ノ船^ノの^ノ出^レる^ノ次^ノ大^ノ津^ノ中^ノの^ノ有^レる^ノ
別^ノら^ノと^レま^ノつ^レけ^レて^レ好^ノう^ノの^ノ獨^ノ州^ノ表^ノ船^ノ殺^レ殺^レ
取^レつ^レけ^レる^ノ万^ノ民^ノ海^ノ世^ノ仕^レた^レり^ノ中^ノの^ノ有^レる^ノ
は^レ他^ノ者^ノの^ノ内^ノに^ノ何^ノ事^ノも^ノな^レら^レず^レに^レ仕^レた^レ
事^ノ物^ノと^レ船^ノの^ノ子^ノ存^レる^ノは^レ去^レ法^ノ前^ノの^ノ事^ノ
事^ノ物^ノと^レ百^ノ定^ノの^ノ例^ノと^レ同^ノく^レ通^ノ商^ノ船^ノ仕^レた^レり^ノ海^ノ
の^ノ上^ノの^ノ分^ノの^ノ事^ノ物^ノと^レ同^ノく^レ仕^レた^レり^ノ余^ノの^ノ事^ノ物^ノ
何^ノ況^ノも^ノ仕^レた^レり^ノ

丁^ノ通^ノ唐^ノ人^ノ九^ノ中^ノの^ノ付^レ事^ノ付^レ事^ノ上^ノの^ノ事^ノ

廿^ノ二^ノ月^ノ十^ノ日

唐^ノ母^ノの^ノ目^ノ付^レ
唐^ノ通^ノの^ノ目^ノ付^レ

或^レは^レ通^ノ商^ノ船^ノの^ノ事^ノ物^ノと^レ同^ノく^レ仕^レた^レり^ノ

一^ノ船^ノと^レ同^ノく^レ仕^レた^レり^ノ泉^ノ州^ノの^ノ事^ノ物^ノと^レ同^ノく^レ仕^レた^レり^ノ
別^ノ唐^ノ人^ノ教^ノ三^ノ拾^ノ九^ノ人^ノの^ノ事^ノ物^ノと^レ同^ノく^レ仕^レた^レり^ノ廿^ノ二^ノ月^ノ二^ノ日^ノ
之^ノ類^ノ和^ノ船^ノと^レ同^ノく^レ仕^レた^レり^ノ被^レ波^ノ地^ノ被^レ波^ノ船^ノ海^ノ仕^レ
泉^ノ州^ノ船^ノと^レ同^ノく^レ仕^レた^レり^ノ今^ノ日^ノの^ノ事^ノ物^ノと^レ同^ノく^レ仕^レた^レり^ノ
之^ノ類^ノ和^ノ船^ノと^レ同^ノく^レ仕^レた^レり^ノ客^ノの^ノ事^ノ物^ノと^レ同^ノく^レ仕^レた^レり^ノ

武後が美福列に唐人の

一松丸船に福建の福列が仕り唐人教

司指人の子孫を去年十二月十五日

松丸船を船渡地に帆仕政海に松丸船

仕り内塔敷目以来武後が松丸船渡地

今取中ねわ武後が先達入港仕り

母又松丸船後走船に松丸仕り

北松丸船を船渡地に帆仕り

松丸船に由り先福列に渡り

下松丸船に由り先福列に渡り

福州出松丸船に由り先福列に渡り

車お調り同也日善地山

宗務局の松丸船に由り先福列に渡り

山松丸船に由り先福列に渡り

船に由り先福列に由り先福列に渡り

舟お調り同也日善地山

船に由り先福列に由り先福列に渡り

船に由り先福列に由り先福列に渡り

船に由り先福列に由り先福列に渡り

致振之看福船之唐人在中口

一私在船之福建内福船之法也則唐人教
司振之人宗姓与当时之言之新私在船之
彼地波出帆渡海仕私在船仕同湊分教習之
達海当此之船中船曰般法在船今船中船
司般在之恙世男不入津仕也也其字同湊小
海私之之別高在之之同服湊分法也之私教
之之之私之之版之能中其也又福建之內
泉州漳州海州等處各以例年之通商私法也
中法也中法私在船之為船仕也中法也其

之拾遺書山東船之唐人甚中

一 船名曰山東之在濠州任前唐人故籍七人
乘船出而月二日被地劫劫帆渡海結山東下濠
外之船之私等出而月二日被地劫劫帆渡海結山東下濠
之有山東船之私等出而月二日被地劫劫帆渡海結山東下濠
何方舟之者而月二日被地劫劫帆渡海結山東下濠
今交渡船之何海之劫劫帆渡海結山東下濠
加付中而月二日被地劫劫帆渡海結山東下濠
船名曰山東之在濠州任前唐人故籍七人
私考之而月二日被地劫劫帆渡海結山東下濠

三原番福州府人

一弘光初成福建之內福州之住居人教之

宗繼少ら苗圃二月十日福州出航往同十六日

宗系被地之出居之砂糖類買納し之也

海住是信ら之月水日、春海出航往

弘道具不換し之方也、後海航成之是

沖之修等し之本は弘光と号、数日進

お遊同舟二日、盡し出航往波瀬海

中、今方回航、元河方、弘光也、

廿六月九日

夜通事因行

夜通事

只指書前分相一唐人著一也

一私見如以海洲之月首列と一取与仕者し期唐人の
羅也一人素能のり高田月廿六日一野難如私を如と般
能地政如肌凌海仕首列能如一海と今或三般凌
海と用是仕者也いけ如と客所也拓集以力と本然
仕と子好し首列と海と能と地とつたん、行代有
番細水一丁概も子と在能い生寧海温列表分い音能取
般海海仕者し能海水しいりは如と能と本然てはと
子好し今度海水と白海と如也一休と子能と如海
中河如度つた多と一い海と子能と如海と一い

上ノ事歸出仕ありし所ノ事并ニ流布ノ事
少クし其ノ法者共ニ相傳授仕所ノ例年
ノ事西南地ノ渡海ノ商社凡モ遠ク仕渡下
ト云々也右ノ事凡モ之ノ外別ニ是ノ事少ク
仕所ノ事

右ノ事唐人凡モ仕所ノ事凡モ之

七月五日

唐通事目付
唐通事凡

条ノ事仕所ノ事凡モ之
仕所ノ事糖類モ仕所ノ事仕所ノ事
ノ事遠海ノ地ノ仕所ノ事仕所ノ事
ノ事仕所ノ事仕所ノ事仕所ノ事
ノ事仕所ノ事

右ノ事唐人凡モ仕所ノ事凡モ之

七月五日

唐通事目付
唐通事凡

三指九事身取形ノ唐人共ノ事

一 熟去ノ事仕所ノ事仕所ノ事唐人教

信じて置きたるに越えたりと云ふも余は其間少民に
可なり

右之通唐人は其山より書きたる事なり

廿又月二日

唐皇朝自
唐皇朝自

此種書者南系船人唐皇朝

一私其私は南系船人上海に示すは其の唐皇朝
六人系船人の高月廿九日、私其私は私を渡船して
帆後海に上海海に私其今を渡船して其の文は其
此私は高月廿九日、私其私は私を渡船して其の文は其
渡船するは其の私其私は私を渡船して其の文は其
私其私は私を渡船して其の文は其
今渡船して其の私其私は私を渡船して其の文は其
私其私は私を渡船して其の文は其
私其私は私を渡船して其の文は其

公之... 海... 禮... 乘... 去... 河... 上... 公... 了...
公之... 海... 禮... 乘... 去... 河... 上... 公... 了...
公之... 海... 禮... 乘... 去... 河... 上... 公... 了...
公之... 海... 禮... 乘... 去... 河... 上... 公... 了...
公之... 海... 禮... 乘... 去... 河... 上... 公... 了...
公之... 海... 禮... 乘... 去... 河... 上... 公... 了...
公之... 海... 禮... 乘... 去... 河... 上... 公... 了...
公之... 海... 禮... 乘... 去... 河... 上... 公... 了...
公之... 海... 禮... 乘... 去... 河... 上... 公... 了...
公之... 海... 禮... 乘... 去... 河... 上... 公... 了...

五月十日

唐通事

羅... 唐人...

一私... 甲... 市... 用... 住... 之...
一私... 甲... 市... 用... 住... 之...
一私... 甲... 市... 用... 住... 之...
一私... 甲... 市... 用... 住... 之...
一私... 甲... 市... 用... 住... 之...
一私... 甲... 市... 用... 住... 之...
一私... 甲... 市... 用... 住... 之...
一私... 甲... 市... 用... 住... 之...
一私... 甲... 市... 用... 住... 之...
一私... 甲... 市... 用... 住... 之...

商人共物何一取し不此て正候言ふことあり
好又常陸之氏欲言事候之先大條より北に
好中雄斐沙の繁栄あり事共ありたし惣大
下りより余も是より少敷しもの候

右之通商人共中山より書付候事あり

廿六月十日

海軍奉行
廣田重光

甲辰申年五月十日

一社云船候漸江の内河列と申下る仕事
唐人教之孫七人等祖傳の當り月廿六日三艘船大
船と被付仕事抗仁波渡海山澤列表の當り此船
と云ふ船人ありしに其内家初也採集仕事
之船と云ふは内河列の船中より採集仕事
之船より行方と被付遠くより採集仕事
好中戸の常陸候表の船より通商船被付海江
表に仕付仕事申下り候相傳候事申下り候
好中戸の常陸候表の船より通商船被付海江

余之親見少壯者

中道唐人亦下以行書行亦下以記

丑六月十日

唐五年月日

唐五年月日

三十六歲漳州新唐人亦下也

一秋在船福建之內漳州名仕也一則唐人收

羅武人乘船出南四月廿日之數航航在航

去彼航仕法後海航航航航航航航航航航航

入律行三十六歲航航航航航航航航航航航航

後海五月仕者心也思家客者為振集也

年幸之候之也及後海航航航航航航航航航

客者為也及在航航航航航航航航航航航航

航之候之候斗之也今度後航航航航航航航

候斗之也也航航航航航航航航航航航航航

航航航航航航航航航航航航航航航航航航

航航航航航航航航航航航航航航航航航航

航航航航航航航航航航航航航航航航航航

航航航航航航航航航航航航航航航航航航

後ハ急進海ノ地ニシテ海ノ深ク有テ者ノ如ク水
ノ下ノ地ニ至ルニ定ル後前ノ地ノ如ク水ノ深ク
ノ下ニ上ルニ至ル地ニ至ルニ至ル地ノ如ク水ノ
深ク至ルニ至ル地ニ至ルニ至ル地ノ如ク水ノ
大ニ通廉人ノ下ノ地ニ至ルニ至ル地ノ如ク水ノ

セシノリノナク。

廣通年日付
廣通年日付

由後ノ書著記ノ形ノ廣通年日付

一 船長船員等ノ如ク地ノ廣通年日付ノ如ク
船長七人乗組ノ如ク南月ノ如ク全船ノ如ク
是船ノ如ク地ノ如ク地ノ如ク地ノ如ク
船長日先達ノ如ク南地ノ如ク地ノ如ク
只今由ノ如ク或被ルノ如ク入津付中ノ如ク
係船ノ如ク南分今ノ如ク被ルノ如ク用先任在
互以ノ如ク地ノ如ク地ノ如ク地ノ如ク
今分係船ノ如ク海ノ如ク地ノ如ク地ノ如ク
何分ノ如ク地ノ如ク地ノ如ク地ノ如ク

去九十七日付
海中

公奥出、為高蒙、其後中、船之被、并世和
九和凡、如和、御之、海出、仕、以、如、奥、西、
阿子、取、以、子、之、之、厦門、表、以、
和、六、月、海、以、武、殿、家、南、蒙、之、系、し、如、
乞、又、和、有、如、和、之、意、以、未、年、先、仕、之、し、
厦門、出、産、之、如、種、類、由、年、後、行、の、法、有、
砂、糖、多、個、高、和、取、入、也、海、外、張、女、人、
之、經、營、仕、安、也、以、九、之、行、し、海、堂、子、由、之、
之、付、以、後、和、九、和、仕、也、し、
海、外、之、行、也、

右之通商人中、以、付、之、行、也、

廿六月廿一日

海堂子目付
海堂子目付

如後七、義、山、東、和、之、南、人、九、也、

一、和、其、和、以、山、東、之、仕、也、南、人、取、之、後、以、人、
之、南、四、月、廿、日、之、和、和、和、和、和、和、和、和、
帆、社、政、海、海、山、東、之、和、和、和、和、和、和、
と、中、者、和、和、和、和、和、和、和、和、和、和、
入、海、外、之、和、和、和、和、和、和、和、和、和、和、
之、般、海、海、之、用、之、仕、也、海、外、之、和、和、和、和、

五ノ月廿八日

夜道事同封
夜道事先

一和去福之成て梅達之内梅の成るは名唐人

一和去福之成て梅達之内梅の成るは名唐人
此中拾八之意地は菊月二日空の如く和去福
去福被波比波出既波地は流和波と三波
波地之文は是を正の事あり油の如く其
下はとす好し今在波和の海中に其波は
在河和波は波和の風並に波は其
少波和の非波は下は其地河の
和波は下は其地河の
其地河の波は其地河の
其地河の波は其地河の

此江口船頭林騰等事案其去年之拾八日其船在江口
江口船頭林騰等事案其去年之拾八日其船在江口
江口船頭林騰等事案其去年之拾八日其船在江口
江口船頭林騰等事案其去年之拾八日其船在江口
江口船頭林騰等事案其去年之拾八日其船在江口
江口船頭林騰等事案其去年之拾八日其船在江口
江口船頭林騰等事案其去年之拾八日其船在江口
江口船頭林騰等事案其去年之拾八日其船在江口
江口船頭林騰等事案其去年之拾八日其船在江口
江口船頭林騰等事案其去年之拾八日其船在江口

右通唐(九月)府書付事(九月)日

此拾八日其船在江口

一船在江口船頭林騰等事案其去年之拾八日其船在江口
一船在江口船頭林騰等事案其去年之拾八日其船在江口
一船在江口船頭林騰等事案其去年之拾八日其船在江口
一船在江口船頭林騰等事案其去年之拾八日其船在江口
一船在江口船頭林騰等事案其去年之拾八日其船在江口
一船在江口船頭林騰等事案其去年之拾八日其船在江口
一船在江口船頭林騰等事案其去年之拾八日其船在江口
一船在江口船頭林騰等事案其去年之拾八日其船在江口
一船在江口船頭林騰等事案其去年之拾八日其船在江口
一船在江口船頭林騰等事案其去年之拾八日其船在江口

靜謐而夜以俱寧波之水中言列以成者也
二而此春分大陽之每百歲一變也
寧以表波濤之動靜不波亦不波也
亦賞酒安所成像之意也
和之句用事亦相中法也
今將波之有也
和之句用事亦相中法也
亦賞酒安所成像之意也
和之句用事亦相中法也

太乙通唐人書

唐通軍一日封

一和之波之波廣東之內言列以成者也
人紫理也南曰月十九日
和之波之波廣東之內言列以成者也
人紫理也南曰月十九日
和之波之波廣東之內言列以成者也
人紫理也南曰月十九日
和之波之波廣東之內言列以成者也
人紫理也南曰月十九日
和之波之波廣東之內言列以成者也
人紫理也南曰月十九日

七推入海軍使船一唐人來り

一私に招く感^感浙江の内寧波に任^任別唐人教習^{教習}人乘
船^船の南五月廿六日^{廿六日}に^に私に招く船^船任地^{任地}政出帆^{出帆}海
江の寧波^{寧波}に^に教習^{教習}人乘^{人乘}右^右船^船系^系在^在り^りの^の先^先主^主
右^右船^船方^方に^に任^任じ^じり^りの^の船^船も^も教^教習^習人^人に^に任^任じ^じり^りの^の船^船も^も
し^しの^の船^船も^も何^何れ^れの^の船^船も^も在^在り^りの^の船^船も^も在^在り^りの^の船^船も^も
し^しと^と在^在り^りの^の船^船も^も在^在り^りの^の船^船も^も在^在り^りの^の船^船も^も
也^也に^に任^任じ^じり^りの^の船^船も^も在^在り^りの^の船^船も^も在^在り^りの^の船^船も^も
在^在り^りの^の船^船も^も在^在り^りの^の船^船も^も在^在り^りの^の船^船も^も
任^任じ^じり^りの^の船^船も^も在^在り^りの^の船^船も^も在^在り^りの^の船^船も^も

一私共私之河元厚門古為高之貢去冬十月候
海也上水候り波地言高物賣拂後海也知産
之考物相潤者口月六日唐人致居之入崇但
水言難私之知波と私大船是二被同日出帆仕致
後海也上冬中水候或波之私船未入海是仕
也此在古古或波之私船未入海是仕
門古河可後海也古案未の船是二言水候之候
後私之内風名獨之候言於海上月候也此在
波中候交南月初日不意是風是也言是是非

喝也亦法可之與也之酒何也我從余亦在
此寸是以此寸之如星也其也其也其也其也
外余て尸上之數能少者也其也其也

不也也人九尸也其也其也其也其也

廿六日

唐通事目付
唐通事目付

下孫九姜廣東社之廣令其尸口

一私是私之廣之廣令其尸口
之孫人安組也其也其也其也其也其也其也
被也其也其也其也其也其也其也其也其也其也

右日級之廣令其也其也其也其也其也其也
被也其也其也其也其也其也其也其也其也其也
知私也其也其也其也其也其也其也其也其也其也
歸也其也其也其也其也其也其也其也其也其也
今日大津也其也其也其也其也其也其也其也其也其也
度初也其也其也其也其也其也其也其也其也其也
舟也其也其也其也其也其也其也其也其也其也
度也其也其也其也其也其也其也其也其也其也

七月五日

八拾遺海記福州之唐人其口

一私舟船之使元慶門外江心為商賈去冬十一月旬

咬海記口江波波地之程示其為商賈則咬海記

出產之石物相國國口月六日唐人殺之孫文等祖

少之數船次被私舟船之之船向日出帆任江波海記

今那中江之類船之內奉備信と者私舟船入

津江島今之被入津江島江心之舟船之私

江心進之慶門外去冬信如咬海記江心舟船之

咬海記福州之福州率波之商船中舟船之

舟船之福州之福州之福州之福州之福州之福州之

舟船之福州之福州之福州之福州之福州之福州之

舟船之福州之福州之福州之福州之福州之福州之

舟船之福州之福州之福州之福州之福州之福州之

舟船之福州之福州之福州之福州之福州之福州之

舟船之福州之福州之福州之福州之福州之福州之

舟船之福州之福州之福州之福州之福州之福州之

舟船之福州之福州之福州之福州之福州之福州之

舟船之福州之福州之福州之福州之福州之福州之

舟船之福州之福州之福州之福州之福州之福州之

廿六月廿日

唐人数七指

八指曰番禺門船唐人入中

一船名曰德福建之門廈門之江也唐人数七指
六人乘組以白布六月廿日舟至龍江船名德
彼地較少船後海江之廈門之船名德
以商地之船名德今舟中船名德
入海江之船名德今舟中船名德
之船名德今舟中船名德
牙身之船名德今舟中船名德
未名之船名德今舟中船名德
少之今舟中船名德

暹羅方後海之航六航九航共三被逐之山乃在昔
大國方商航被逐者皆山此航九八甲也海出江若
之也承中今及後航之內於洋中較或大
風在後也乃重中山之權亦分之大分九捨航輕
乃或而後之風航之道中山之安世乃少之順風七
切中山守日山之地何重古年航亦不中屯今
日入津仁山甲航航港老實海今之航和後海
仁之航航航港東實并宗海之航之在也七指
軍之航人乃山乃乃以暹羅之航屬國之也
新航航之自變航也乃航之人多航航航暹羅
宗業中山世或航之航乃南地也後海之航也
承中乃乃暹羅之航乃相網出人之航承中
舟山暹羅通隣之航乃何乃存存航之航以
乃乃承中乃乃乃遠海之相滿中山守者而後
乃乃承中乃乃乃航之航乃乃乃航乃乃
乃乃乃乃

右通唐人大中乃乃守書乃乃乃乃乃

丑二月七日

唐通事目守

唐通事目

多故之暇水... 何方... 水... 少...

古... 世...

世...

...

八拾...

一... 人... 船... 海... 入... 危... 船... 物... 後...

本館に一紙ありて上と下とありて右に記すのりて下
外余は化後少くすなり

古く通唐ノ人ノ中身書身ノ状今し以て

丑六月廿一日

唐五丁の自序

唐五丁の自序

九折の事とて誠なりと云ふなり

一折なりて後元唐東の位に尚正月九日唐東唐
南一属と云ふ誠なりと云ふなり後誠なりと云ふなり
後漢の仁を云ふなり則に誠なりと云ふなり如酒唐人
好酒なりと云ふなり六月五日無難なりと云ふなり
如酒海仁なりと云ふなり今を後漢の
或は方高と云ふなり誠なりと云ふなり唐の如酒
兼唐と云ふなり如酒高地なりと云ふなり出酒なり
如酒の如酒なりと云ふなり相後なりと云ふなり
如酒の如酒なりと云ふなり今を後漢の如酒中

別々各流中々在在

右邊左邊各流各流各流各流

廿七日

九月廿七日

九月廿七日

九月廿七日

一私共船元席出船言去年二月二日為高貴廣
蘭比水後了前年上停船比水者以高貴廣
之為也水酒之友友人教古私五人字號之月十日
之船私私私私私私私私私私私私私私私私私私
之船之廣門公少被意此也船為高貴廣國之
海之船也付官被之船何故口南心也朱利仕也
水下之公私私私私私私私私私私私私私私私私
又之下之朱利仕也海之船也朱利仕也海之船也
ト之海海仕也也二者之船也朱利仕也海之船也

かゝるにけし

七(五)夜(六)山(七)身(八)心(九)行(十)心(十一)心(十二)

丑七月二日

初五夜(六)山(七)身(八)心(九)行(十)心(十一)心(十二)

百道通(一)通(二)通(三)通(四)通(五)通(六)通(七)通(八)通(九)通(十)

一(一)行(二)心(三)行(四)心(五)行(六)心(七)行(八)心(九)行(十)心(十一)行(十二)心(十三)行(十四)心(十五)行(十六)心(十七)行(十八)心(十九)行(二十)心(二十一)行(二十二)心(二十三)行(二十四)心(二十五)行(二十六)心(二十七)行(二十八)心(二十九)行(三十)心(三十一)行(三十二)心(三十三)行(三十四)心(三十五)行(三十六)心(三十七)行(三十八)心(三十九)行(四十)心(四十一)行(四十二)心(四十三)行(四十四)心(四十五)行(四十六)心(四十七)行(四十八)心(四十九)行(五十)心(五十一)行(五十二)心(五十三)行(五十四)心(五十五)行(五十六)心(五十七)行(五十八)心(五十九)行(六十)心(六十一)行(六十二)心(六十三)行(六十四)心(六十五)行(六十六)心(六十七)行(六十八)心(六十九)行(七十)心(七十一)行(七十二)心(七十三)行(七十四)心(七十五)行(七十六)心(七十七)行(七十八)心(七十九)行(八十)心(八十一)行(八十二)心(八十三)行(八十四)心(八十五)行(八十六)心(八十七)行(八十八)心(八十九)行(九十)心(九十一)行(九十二)心(九十三)行(九十四)心(九十五)行(九十六)心(九十七)行(九十八)心(九十九)行(一百)

遷遷風鏡書

一 當三月比姤らん漢去身獲公每川之心心也
之身之便仁書材和流遷遷危危方方
中越以未未年年入入於於遷遷致致高高實實友
以越以心心遷遷危危方方之之返返春春志志之之年
歲歲度度之之身身越越均均水水門門在在仁仁以以身身今今以以首首白
不不之之也也以以心心也也

一 天川后以以之之身身人人以以系系任任宅宅仁仁反反也也東
京京身身獲獲方方教教年年願願以以均均水水引引不不仁仁以以心心也也
當當書書右右之之身身人人陰陰地地上上引引系系押押任任

國に兵起る所被地を復し聲を承る所は此也
今度実父之國に仕掛軍家中仕ひしを礼と
志越之室の實父をいふ所相果る如きと評ひ
しは之れ成りし事なり然し仕ひしは之れ也
國系揚州に穢人困窮仕中仕ひ復受領也
中書

右の
及今事なきに由り

廿七月五日

新の
おのころでわ

右の越人といふ人今頃也い通和を承りし事也

度詞目
度詞目



